

20

たなぐらじょうせき

棚倉城跡の大ケヤキ 棚倉町

天然記念物指定 昭和51年5月4日 県指定

所在地 東白川郡棚倉町大字棚倉字城跡

所有者 棚倉町 樹齢 600年

樹高 32.3m 胸高周囲 950cm

科名 ニレ科 樹種 ケヤキ

来歴

棚倉城は、寛永2年(1625年)ときの藩主丹羽長重(にわながしげ)が、関東守護の要路として重視する徳川幕府の命により築城した平城で、2年間を要し、寛永4年(1627年)に完成した。当時、このあたりはうっ蒼と種々の木々が茂っていたものと思われ、このケヤキもその中の1本であったものであるが、場所も良く、神木で形も秀れていたため、記念に残されたものと思われる。



21

あきばじんじや

秋葉神社のケヤキ 棚倉町

所在地 東白川郡棚倉町大字棚倉字北町

管理者 秋葉神社

樹齢 250年

樹高 28.0m

胸高周囲 650cm

科名 ニレ科

樹種 ケヤキ

来歴

本神社は、文政元年(1818年)当時の城主、井上正甫(いのうえまさもと)が遠州浜松からこの地に転封(てんぼう)されたとき、同国秋葉神社から勧請(かんじょう)したもので、その後引続き里人に防火神として崇敬(そうけい)されている。このケヤキは勧請した際、記念に植樹されたものと伝えられる。

